

講義回数	講座名	タイトル	東洋医学概論対照目次 (ページ数)		
			第1章 東洋医学の特徴 (34)	第1節 東洋医学の沿革 (10) 第2節 人体の見方 (5) 第3節 東洋医学的治療 (11) 第4節 日本の東洋医学の現状	
①	基礎理論 (13回)	人体の見かた		I. 東洋医学の歴史 3-12 (10) I. 人と自然の統一性 13-14 (2) II. 有機的な統一体としての人体 15 (1) III. 虚実と標本 16 (1) IV. 個に対する医療 17 (1)	
①		人体の見かた		I. 治療論 18-20 (3) II. 治療法 21-28 (8) I 日本資格制度の特徴 29-31(3) II 東洋医学的な視点の重要性 32(1) III 現代における東洋医学の多様性 32-36(5)	
②③		精・気・血・津液		I. 生理物質 (精・気・血・津液) 38-62(25) II. 神 62-67(6) III. 人体における陰陽 68-73(6)	
④		神		I. 藏象学説 74-76(3) II. 五臓とその機能に関連した領域 77-126(50) III. 五臓の相互作用 127-141(15) IV. 六腑の協調関係 142(1) V. 全身の気機 143-149(7)	
⑤～⑩		藏象		I. 経絡の概念 150(1) II. 経絡の機能 151-152(2) III. 経絡の構成 152-156(5) IV. 経絡の病理 157-160(4)	
⑪		経絡		I. 病因 161-170(10) II. 病機 171-180(10)	
⑫⑬		病因病機		I. 陰陽学説の基本 182-185(4) II. 東洋医学における陰陽学説の運用 186-187(2) I. 五行学説の基本内容 188-190(3) II. 東洋医学における五行学説の運用 191-200(10)	
⑭			陰陽・五行		
⑭			陰陽・五行		
⑮		診察学 (5回)	望診		I. 神 202(1) II. 色 203(1) III. 形 204(1) IV. 態 205(1) V. 舌診 205-212(8)
⑮			聞診		I. 声診 213-214(2) II. 五音 214(1) III. 五声 214(1) IV. 呼吸 215(1) V. 発語 216(1) VI. 異常音 216(1) VII. 気味 217-218(2)
⑯			問診		I. 問診の進め方 219(1) II. 主訴 220-222(3) III. 基本的問診事項 222-233(12) IV. その他の問診事項 234-248(15)
⑰			その他の問診		I. 反応 249-251(3) II. 腹診 251-254(4) III. 切経 254(1) IV. 経穴診 255(1) V. 腹診 256-265(10)
⑱	切診			I. 弁証方法 270-284(15) II. 標本と主客 284(1)	
⑱			四診合参 (4)		
⑲	弁証論治 (6回)	弁証		I. 治則 285-288(4) II. 治法 288-298(11) III. 治療法の概要 298-306(9)	
⑲		論治		I. 弁証の進め方 307-311(5)	
⑲		治療法			
⑲		弁証の進め方			
⑳		特別症例	特別症例	症例の弁証解説を行い、実践的な弁証論治の力をつける	
㉑		特別症例	特別症例	症例の弁証解説を行い、実践的な弁証論治の力をつける	